

# アマチュア 『疑心暗鬼』

プロとアマチュアの違いは、  
自然を見方に付けたか、敵にまわしたか。

バリューゴルフ  
**VALUE GOLF**  
www.valuegolf.co.jp

## 『1万時間の法則』

スポーツの世界でも、ビジネスの世界でも、どの世界にも「プロフェッショナル」と呼ばれる人がいる。彼らは、生まれながらに桁外れの才能を持っているように感じるが、そうではない。中には、真の天才！もいるかもしれないが、大抵は、努力の賜物である。

少し前になるが、コラムニストのマルコム・グラッドウェル氏（イギリス生まれ。「ニューヨーカー」の記者）が、「1万時間の法則」を発表した。どんな分野においても、成功するためには、1万時間くらいの練習が必要である、という法則である。

しかし、この法則、正しいようで、正しくない。スポーツにおいて、練習時間は上達に比例する。プロの中でも、特に一流と言われる選手は、時間さえあれば練習をしているのである。松山選手が、4日間の試合を終えた後でも、残ってパットの練習をしている姿に感心したことを覚えていて。その日のうちに、その日の課題を克服し、問題を解決する。一打一打に集中する力も備わっている。

やみくもに1万時間練習すれば、才能が開花するわけではない。時間よりもその中身が大事である。頭で考え、集中する。弱点を分析し、次につなげるための練習。

本当のプロフェッショナルとは、1万時間での習熟は、ゴールではなく入り口であり、時間ではなく中身なのだと思う。

日本には、「好きこそ物の上手なれ」という言葉がある。自分がやっていることがどれほど好きであるか、気がつけば1万時間やってきたかもしれない…と思えるくらい好きなことに打ち込める人が、その道を極めていくのではないだろうか。

1万時間というと、1日9時間を3年間。そう考えると、全くできない、遠い数字ではない。あなたは、何に1万時間を費やしていますか。そして、これから何に1万時間を費やしたいですか。



戸張 捷 Sho Tobaru

1945年、東京生まれ。  
高校からゴルフを始め、3年で全日本ジュニア3位、大学4年で日本アマ9位。住友ゴム工業（現SRIスポーツ）に入社後、株式会社ダンロップスポーツエンタープライズへ出向。トーナメントディレクター、プロデューサーとして日本ゴルフ界に貢献した。現在は、ゴルフキャスターとして活躍するほか、ゴルフトーナメントやイベントのプロデュース、コンサルティングなども手掛けている。